



若き心

集まるどころ

12月 (NO10)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長 山口 茂

令和3年12月1日

新型コロナウイルス感染症の対策について

8月の中旬頃から猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症ですが、10月中旬頃から感染の拡大も収まり、茅ヶ崎市では新規感染者ゼロの日が続いています。本校でも11月24日(水)から11月30日(火)の1週間、学校へ行こう週間を実施することができました。部活動の練習試合もできるようになり、少しずつ“普通の学校生活”が戻ってきているように思います。

しかし、テレビなどを見ていると「新型コロナウイルスの新しい変異株が発見された」というニュースが取り上げられています。また、これからの冬の時期、日本では空気が乾燥しウイルス性の感染症が拡大する恐れもあります。昨年もこのくらいの時期から、新型コロナウイルスの感染症が拡大しました。

学校では、毎日の健康観察やマスクの着用、手洗いや消毒の徹底、お弁当の黙食などこれまで行ってきた対策を引き続き行っていきます。各ご家庭でも、改めて“ご家庭でできる感染症の対策”を行っていただきたいと思います。12月23日(木)には2年生の野外活動が予定されています。年が改まれば、3年生の受験が始まります。大切な時期に生徒が安心して活動できるよう、今ここで感染症対策をしっかり行うことが大切なのだと思います。

後期の生徒会活動がスタートしました

9月28日(火)に生徒会役員選挙が行われ、新しい生徒会の本部役員を選出しました。少し遅くなってしまいましたが当選した新しい本部役員の皆さんを紹介します。

- 生徒会長…大坪 柚音さん
- 副会長…丸山 飛燕さん
- 松藤 来実さん
- 会 計…澤崎 美貴さん
- 大村 沙織さん
- 書 記…石田 神楽さん
- 平山 凜太郎さん



11月22日(月)の6時間目に生徒総会が行われました。生徒会本部役員や各委員会の後期の活動目標や活動内容などを全校生徒に承認してもらう大切な会議です。今回も新型コロナウイルス感染症の対策で放送による生徒総会でした。新しい本部役員の初めての大事な仕事でした。

野球部

11月20日(土)に鶴が台中学校会場で「K-1大会」が行われました。1回戦の対戦相手は第一中学校でした。序盤1点を争う緊迫した試合でしたが、最終的には5-1で勝利をおさめ、2回戦にコマをすすめました。2回戦の対戦相手は梅田中学校でした。梅田中学校のピッチャーが好投し鶴が台中の打者は思うようにヒットを打つことができませんでした。結果3-8で敗れてしまいました。

女子ソフトテニス部

11月6日(土)に三ツ沢公園テニスコートで県大会の団体戦が行われました。湘南ブロックを勝ち抜いた鶴が台中学校のメンバーで県大会に挑みましたが、残念ながら初戦で敗退してしまいました。

11月20日(土)に小田原のテニスコートで行われた県大会の個人戦では、1年生の川喜多さん・新沼さんのペアが第3位になりました。

女子バスケットボール部

11月6日(土)に藤沢市立羽鳥中学校で新人戦の湘南大会が行われました。残念ながら湘南台中学校との初戦で敗退となってしまいました。

女子バレーボール部

11月6日(土)に大船中学校で湘南ブロックの新人戦が行われました。1回戦の対戦相手は六会中学校です。第1セットは接戦の末20-25で取られ、第2セットもとられてしまい、0-2で負けました。

剣道部(男子)

新人錬成大会が11月3日(水)に寒川中学校で行われました。団体戦は5人で1チームですが鶴が台中学校は選手が3名しかおらず、勝つためには「出場した選手全員が勝たなくてはならない」という過酷な条件での試合でした。人数によるハンデキャップが大きく予選リーグの2試合とも負けてしまい決勝リーグに進むことはできませんでした。

個人戦でも、それぞれ全力で戦いましたが、湘南大会に進出とはなりませんでした。

剣道部(女子)

11月6日(土)に旭が丘中学校で新人錬成大会が行われました。団体戦では第3位となり湘南大会に出場します。個人戦でも2年生の安齊瑚々菜さんが第3位となり、湘南大会に出場します。



保護者会ボランティアの方からの報告

先日、職員の朝の打ち合わせがあり、私が校門に行けなかった日がありました。その日に朝の挨拶運動をしてくださっていた保護者会のボランティアの方から、次のような報告がありました。

「今朝、鶴が台中学校の前の押しボタン信号の横断歩道で、赤信号なのに乗用車が信号無視をして通って行きました。幸い生徒がいなかったからよかったですけれど、もし生徒が横断しているときだったら事故が起きていました」

また、11月29日（月）の午後1時30分頃には、正門の正面で自動車の玉突き衝突事故が発生しました。救急車や消防車が7台くらいやってきて、ケガをされた方を搬送していきました。

事故の対応のため現場である正門のあたりは騒然としていましたが、生徒の皆さんは落ち着いて5時間目の授業をしっかりと受けていました。消防署の方も、のぞき見したりする生徒がいなくて授業がきちんとできていることにびっくりされて、皆さんのことをほめてくださいました。

現場で、教頭が「授業中によかったですね。もし、登下校の時間だったら、生徒が巻き込まれていたかもしれなかった」と話していました。

正門の前の横断歩道は信号がついているので、皆さんは安心して、左右の安全確認をせず渡っていると思います。しかし、信号を無視して突っ込んでくる自動車が絶対にいないとは言い切れません。登下校中はもちろんですが、それ以外の時にも、交差点や横断歩道などでは左右の安全を自分の目で確認して道路を横断するようにしてください。

文化の秋

10月13日（土）～12月5日（日）の期間、茅ヶ崎市美術館で地区中学校美術展が行われています。本校からも美術の授業で制作した作品がたくさん出品されています。私は、最終日12月5日（日）の午前中に見学させていただこうと思っています。

10月16日（土）に茅ヶ崎市民文化会館で茅ヶ崎地区音楽会が行われました。鶴が台中学校からは吹奏楽部が出場し「TITANIC」を演奏しました。短い期間の中で頑張って練習して、素晴らしい演奏を発表してくれました。

11月7日（日）には茅ヶ崎市民文化会館で湘南アンサンブルコンテストが行われました。鶴が台中学校の吹奏楽部の代表として、金管楽器のチームが「Spring Green ～未知への扉～」を演奏しました。また、木管楽器と打楽器の混成チームが「佐々樂舞幻想」を演奏しました。どちらのチームも息の合った演奏でした。

11月の運動部の大会の結果

男子バスケットボール部

11月6日（土）に新人戦の湘南大会が藤沢の羽鳥中学校で行われました。会場校である羽鳥中学校との試合は1点を争う展開で第4ピリオドの残り1分くらいで同点という緊迫した試合でした。残り時間がほとんどないなかで羽鳥中学校にゴールを決められてしまい、残念ながら負けてしまいました。鶴が台中学校の方が平均身長がだいぶ低いなか、一人ひとりが必死に動き回り戦っていた姿が印象に残る試合でした。



11月24日（水）に第2回学校評議員会が行われました

【基準服変更について】

鶴が台中学校では今年度の4月から女子の基準服についてスラックスの着用を認めました。これで、女子についてはスラックスでもスカートでも自分が身に付けたい服を選ぶことができるようになりました。しかし、男子の場合、基準服が標準学生服（詰襟）なので、スラックスではなくスカートをはきたくても選択できません。

LGBTに対応するためには男子の標準学生服を変更する必要があります。そこで、制服のメーカー各社からお話を聞かせていただき、先日保護者代表の方にも、お時間をとっていただいて説明をさせていただきました。

11月24日の学校評議員会でもこの話題について話し合いました。参加された評議員の皆様は、これからの時代に合わせて基準服を変更していくことに対して、ご賛同をいただきました。

これを受け、基準服検討委員会（校長・教頭・学校評議員・保護者代表の方・各学年の代表の先生方で構成）でどのようなスタイルの基準服にしていくのか、素材や機能面はどうするかなど話し合うこととなります。

新しい基準服が決まっても服を作るのには時間がかかるため、実際に運用が始まるのは、令和5年度からになります。また、現在の男子の標準学生服（詰襟）や女子の基準服につきましては、一定の期間着用を認めていく方針です。令和何年まで着用を認めるか等につきましては、今後の検討委員会で話し合っていきます。

新しい基準服につきまして、ご意見やご要望がございましたら、教頭までご連絡ください。

【部活動の削減について】

今年度を最後に男子ソフトテニス部の新入部員を募集せず、令和5年度の夏以降男子ソフトテニス部を廃部にさせていただくことにつきましては、年度初めにご連絡させていただいた通りです。しかし、男子ソフトテニス部を除いても、鶴が台中学校には運動部が10あり文化部が5あります。

どの部活動も複数の顧問を配置しないと何かあったときや大会の引率などで問題が生じる可能性があります。しかし、現在鶴が台中学校には部活動の顧問を引き受けることができる教員は21名で、苦しい中で部活動の顧問をお願いしているのが現状です。

部活動は教員の本来の業務ではないので、ほぼボランティアの状態です。土曜日や日曜日に活動しています。他にも、全ての運動部においてそのスポーツを経験したことのある先生が顧問になっているわけではありません。“頑張っている生徒のために”全く経験したことのない競技の顧問を引き受けている先生方もたくさんいるのです。また、大会には顧問が引率していかなければならないことや、大会の運営や審判も顧問の先生方が行っているという現状があります。

教師の働き方改革が大きな問題になっているなか、先生方にこれ以上の無理はお願いできないので、少しずつ部活動を減らしていこうと思っています。

学校評議員会でも「部活動を心のよりどころにしている生徒もたくさんいますよね」といったお話もいただきましたが、“先生方の負担を考えると仕方がないことなのかもしれない”ということでご了承いただきました。

どのような形で部活動を縮小していくのか細かい方針が決定いたしましたら、ご連絡させていただきます。現在、人数が足りないなか、先生方は生徒のために休日返上で顧問をしております。保護者の皆様もそのあたりをお汲み取りいただき、ご協力をお願いできればと思っております。